

梅沢クラブ優勝報告

1月14日(水)、昨年12月に行われた春季全日本小学生女子ソフトボール青森県予選会で優勝した梅沢クラブの優勝報告会が役場庁舎で行われました。

チームを率いる佐藤典弘監督(梅沢小学校教諭)から中野町長へ予選会の経過報告が行われ、その後選手一人一人から全国大会に向けての抱負が述べられ、熱い意気込みが感じられる報告会となりました。



△目標はベスト4!と熱く語る安田千紘主将(5年生)

△選手全員が全国大会での勝利を誓う!

今年こそ関取だ!



柎翼 祐一(とちつばさ ゆういち)

●昭和55年月10月3日生 ●初土俵 平成15年春場所 ●得意技 寄り切り・投げ出し ●ニックネーム 先生 ●尊敬する力士 横綱栃ノ海(田舎誰村出身) ●20年初場所から四股名を加賀谷から柎翼に改名

鶴田町廻堰出身、春日野部屋の幕下36枚目柎翼(とちつばさ)・本名加賀谷祐一(かがや ゆういち)が、初場所を5勝2敗で勝ち越し、関取(十両)へ向けて幸先の良いスタートを切りました。場所後、帰郷した本人に今年の抱負を伺いました。「いつも声援ありがとうございます。以前幕下6枚目まで上がって、勝ちたいと思うがあまり無理をして調子を落としてしまったので、今年は無理をせず、けいこに精進して、みなさんの期待に応えられるよう上(十両)を目指します」と力強くそして満面の笑顔で語ってくれました。身長167cm、体重100kg足らずと相撲界の中でもひとときわ小さな柎翼ですが、自分より大きな力士と闘うため、人一倍の努力と研究を日々重ねています。来場所勝ち越すと十両はもう目前、ケツパレ柎翼!

つるた農事だより

品質の良いリンゴづくりを

一月五日(月)、鶴田地区りんご支会連絡協議会、町、つがるにしきた農協、鶴田地区りんご共同防除組合の共催で「新春剪定会」が宮本良一さん所有のりんご園地(鶴田字早瀬)で開催され、農家の方々約百人が剪定技術を学びました。

鶴田地区りんご支会連絡協議会の浅利豪会長が「昨年はひょう害で大変な年でしたが、今年は品質の良いリンゴ、そして高く売れるリンゴがたくさん穫れるよう皆さん力を合わせて頑張りましょう」とあいさつの後、青森県りんご剪定士の下山司さんが講師を務め剪定の技術指導が行われました。参加した農家の方々は、食い入るように講師の剪定する枝を見つめ、切る枝、残す枝のポイントなどを講師に質問して技術を習得していました。



△農家の方々へていねいに指導する剪定士の下山さん



△あるじゃで販売されているタラの芽

冬場の収入作物と「タラの芽」を栽培

農業振興作物の推進対策として、冬期における収入の確保を実証するため、町では「タラの芽」の栽培に取組み、一月中旬から「あるじゃ」の産直コーナーで販売しています。

このタラの芽は、元気な鶴田町の農業を確立するために、昨年四月に町の土壌診断室に設立された町農業支援センターの振興作物の一つで、町のタラの芽栽培の有志の方々が、冬期間の収入確保のため栽培してきたものです。

三月になると山菜として市場に出回るタラの芽を、一月に出荷することにより、めずらしさも相まって収入が見込めるのではと、冬期の作物として大変期待されています。

販売元のあるじゃでは、山菜の王様と呼ばれる「タラの芽」を町民に美味しく味わっていただくこと、物産(てんぷら等)にしての販売も行われています。ぜひ一度お試しあれ。